

2007年(平成19年)9月5日(水曜日)

二〇〇五年のアカデミー賞脚本賞に輝いた映画「サイドウェイ」、ご存じでしょうか? ワインおたくの主人公マイルスとその親友との一週間のワイナリー巡りの旅を描いた、ホロ苦くも良質なヒューマンコメディ。広々と

計 | 雨 | 晴

したブドウ畑の風景や、それぞれのワイナリーで試飲しながら主人公がこぼす愛に満ちた(たまに辛辣な)コメントの数々に触発され、この映画を見た後はワインが飲みたくなる

こと必至の一本です。

この映画の影響で、舞台となったアメリカ西海岸のサンタ・バーバラは世界中に名を知られ、空前のワイナリーに沸きました。小規模なワイナリーがほとんどというこの地域は、ワイン

旅 | 飲 | 家 | 愛

産業、観光業ともその後も発展しているそうです。

マイルスのような「雑音」を言いませんが、お酒をめぐる旅、実は私も十年ほど前に、東京の映画会社を退社して佐渡の蔵に戻るまでの間に挑戦しまし



時間を体験することで、異国から訪れる初めての土地でさえ、なんだか第二の故郷のように身近に感じられるのも不思議なお酒の魔力です。おいしいお酒が生まれる銘醸地ならではの旅の楽しみ方といえます。

新潟にも、当蔵を含め、ふらりと蔵見学ができるところがたくさんあります。お客さまの中には、日本全国の蔵巡りを趣味としている方も結構いらっしゃり、愛飲家グループの酒蔵ツアーなどもあるそうです。酒造りに携わる者としては、なんとも頼もしい存在です。さらに、いつか「サイドウェイ」のように、日本酒をめぐる旅を描いた映画が制作され、世界各地で大ヒットしたならば、にわかに元映画宣伝ウーマンの妄想は膨らみます。もっとも、日本酒おたくが主人公になるかどうかは疑わしい限りでございますが。

た。ドイツとイギリスでは地ビールを堪能し、フランスやイタリアではあまたあるワイナリーをふらりと訪ね歩きました。一面に広がるブドウ畑を眺めつつ、土と湿った葉っぱの香りを感じながらワインを試飲する贅沢。そんな